

鹿児島県農業共済組合事業規程の一部改正（案）新旧対照表

（下線部分は改正部分）

新	旧
<p>第1条～第70条（略） （組合員負担共済掛金の分納）</p> <p>第70条（略）</p> <p>（1）共済掛金期間が1年（第57条第2項の規定により共済掛金期間を1年未満とする場合で、当該共済掛金期間の月数が12か月のものを含む。以下この章において同じ。）である包括共済関係について、共済掛金期間ごとの組合員負担共済掛金の金額が5万円以上である場合 <u>4回、共済掛金期間ごとの組合員負担共済掛金の金額が15万円以上である場合 12回</u></p> <p>（2）この組合が第57条第2項の規定により共済掛金期間を1年未満とする包括共済関係であって、当該共済掛金期間が6か月以上12か月未満のものについて、当該包括共済関係に係る組合員負担共済掛金の金額が5万円以上である場合 <u>2回又は6回</u></p> <p>2（略）</p> <p>3 第1項第1号の規定により組合員負担共済掛金を4回<u>又は12回</u>に分割して払い込むことを認められた場合には、<u>それぞれ組合員負担共済掛金の4分の1又は12分の1に相当する金額（組合員負担共済掛金の範囲内において、この組合が別に提示する金額がある場合にあっては、当該金額の中から組合員が選択した金額）</u>を、第50条第2項の承諾の通知が到達した日の翌日から起算して1週間以内（第55条第2項に規定する場合にあっては、同項の特定の日から2週間以内。前条第3項に規定する場合にあっては、共済掛金期間の満了の日まで。次項において同じ。）及び第1回目の組合員負担共済掛金の払込期限の日の翌日から起算して当該共済掛金期間の月数を、<u>それぞれ4回又は12回</u>で除して得た月数を経過するごとの日までに、それぞれこの組合に払い込</p>	<p>第1条～第70条（略） （組合員負担共済掛金の分納）</p> <p>第70条（略）</p> <p>（1）共済掛金期間が1年（第57条第2項の規定により共済掛金期間を1年未満とする場合で、当該共済掛金期間の月数が12か月のものを含む。以下この章において同じ。）である包括共済関係について、共済掛金期間ごとの組合員負担共済掛金の金額が5万円以上である場合 4回</p> <p>（2）この組合が第57条第2項の規定により共済掛金期間を1年未満とする包括共済関係であって、当該共済掛金期間が6か月以上12か月未満のものについて、当該包括共済関係に係る組合員負担共済掛金の金額が5万円以上である場合 2回</p> <p>2（略）</p> <p>3 第1項第1号の規定により組合員負担共済掛金を4回に分割して払い込むことを認められた場合には、組合員負担共済掛金の4分の1に相当する金額を、第50条第2項の承諾の通知が到達した日の翌日から起算して1週間以内（第55条第2項に規定する場合にあっては、同項の特定の日から2週間以内。前条第3項に規定する場合にあっては、共済掛金期間の満了の日まで。次項において同じ。）及び第1回目の組合員負担共済掛金の払込期限の日の翌日から起算して当該共済掛金期間の月数を4回で除して得た月数を経過するごとの日までに、それぞれこの組合に払い込まなければならない。ただし、災害に際しこの組合の区域内の市町村に災害救助法が適用された場合であって、当該市町村の区域内に住所を有する組合員のうち組合員負担共済掛金の</p>

まなければならない。ただし、災害に際しこの組合の区域内の市町村に災害救助法が適用された場合であって、当該市町村の区域内に住所を有する組合員のうち組合員負担共済掛金の分割支払に係る払込期限が当該災害の発生日から延長期日までの間に到来するものについての当該払込期限をそれぞれ当該延長期日まで延長することをこの組合が理事会において決定したときは、当該延長期日を当該払込期限とする。

4 第1項第2号の規定により組合員負担共済掛金を2回又は6回に分割して払い込むことを認められた場合には、それぞれ組合員負担共済掛金の2分の1又は6分の1に相当する金額（組合員負担共済掛金の範囲内において、この組合が別に提示する金額がある場合にあっては、当該金額の中から組合員が選択した金額）を、第50条第2項の承諾の通知が到達した日の翌日から起算して1週間以内及び第1回目の組合員負担共済掛金の払込期限の日の翌日から起算して当該共済掛金期間の月数を、それぞれ2回又は6回で除して得た月数を経過するごとの日までに、それぞれこの組合に払い込まなければならない。ただし、災害に際しこの組合の区域内の市町村に災害救助法が適用された場合であって、当該市町村の区域内に住所を有する組合員のうち組合員負担共済掛金の分割支払に係る払込期限が当該災害の発生日から延長期日までの間に到来するものについての当該払込期限をそれぞれ当該延長期日まで延長することをこの組合が理事会において決定したときは、当該延長期日を当該払込期限とする。

5～6 (略)

第71条～第78条 (略)

(組合員負担共済掛金の分納)

第79条 (略)

(1) 共済掛金期間が1年（第57条第2項の規定により共済掛金期間を1年未満とする場合で、当該共済掛金期間の月数が12か月のものを含む。）である包括共済関係について、共済掛金期間ごとの組合員負担共済掛金の金額が5万円以上である場合 4回、共済掛金期間ごとの組合員負担共済掛金の金額が15万円以上である場合 12回

分割支払に係る払込期限が当該災害の発生日から延長期日までの間に到来するものについての当該払込期限をそれぞれ当該延長期日まで延長することをこの組合が理事会において決定したときは、当該延長期日を当該払込期限とする。

4 第1項第2号の規定により組合員負担共済掛金を分割して払い込むことを認められた場合には、第50条第2項の承諾の通知が到達した日の翌日から起算して1週間以内に組合員負担共済掛金の2分の1に相当する金額を、第1回目の組合員負担共済掛金の払込期限の日から起算して当該共済掛金期間の2分の1に相当する月数を経過した日までにその残額に相当する金額を、それぞれこの組合に払い込まなければならない。ただし、災害に際しこの組合の区域内の市町村に災害救助法が適用された場合であって、当該市町村の区域内に住所を有する組合員のうち組合員負担共済掛金の分割支払に係る払込期限が当該災害の発生日から延長期日までの間に到来するものについての当該払込期限をそれぞれ当該延長期日まで延長することをこの組合が理事会において決定したときは、当該延長期日を当該払込期限とする。

5～6 (略)

第71条～第78条 (略)

(組合員負担共済掛金の分納)

第79条 (略)

(1) 共済掛金期間が1年（第57条第2項の規定により共済掛金期間を1年未満とする場合で、当該共済掛金期間の月数が12か月のものを含む。）である包括共済関係について、共済掛金期間ごとの組合員負担共済掛金の金額が5万円以上である場合 4回

(2) この組合が第57条第2項の規定により共済掛金期間を1年未満とする包括共済関係であって、当該共済掛金期間が6か月以上12か月未満のものについて、当該包括共済関係に係る組合員負担共済掛金の金額が5万円以上である場合 2回又は6回

2 (略)

3 第1項第1号の規定により組合員負担共済掛金を4回又は12回に分割して払い込むことを認められた場合には、それぞれ組合員負担共済掛金の4分の1又は12分の1に相当する金額(組合員負担共済掛金の範囲内において、この組合が別に提示する金額がある場合にあっては、当該金額の中から組合員が選択した金額)を、第50条第2項の承諾の通知が到達した日の翌日から起算して1週間以内(第55条第2項に規定する場合にあっては、同項の特定の日から2週間以内。前条第3項に規定する場合にあっては、共済掛金期間の満了の日まで。次項において同じ。)及び第1回目の組合員負担共済掛金の払込期限の日の翌日から起算して当該共済掛金期間の月数を、それぞれ4回又は12回で除して得た月数を経過するごとの日までに、それぞれこの組合に払い込まなければならない。ただし、災害に際しこの組合の区域内の市町村に災害救助法が適用された場合であって、当該市町村の区域内に住所を有する組合員のうち組合員負担共済掛金の分割支払に係る払込期限が当該災害の発生日から延長期日までの間に到来するものについての当該払込期限をそれぞれ当該延長期日まで延長することをこの組合が理事会において決定したときは、当該延長期日を当該払込期限とする。

4 第1項第2号の規定により組合員負担共済掛金を2回又は6回に分割して払い込むことを認められた場合には、それぞれ組合員負担共済掛金の2分の1又は6分の1に相当する金額(組合員負担共済掛金の範囲内において、この組合が別に提示する金額がある場合にあっては、当該金額の中から組合員が選択した金額)を、第50条第2項の承諾の通知が到達した日の翌日から起算して1週間以内及び第1回目の組合員負担共済掛金の払込期限の日の翌日から起算して当該共済掛金期間の月数を、それぞれ2回又は6回で除して得た月数を経過するごとの

(2) この組合が第57条第2項の規定により共済掛金期間を1年未満とする包括共済関係であって、当該共済掛金期間が6か月以上12か月未満のものについて、当該包括共済関係に係る組合員負担共済掛金の金額が5万円以上である場合 2回

2 (略)

3 第1項第1号の規定により組合員負担共済掛金を4回に分割して払い込むことを認められた場合には、組合員負担共済掛金の4分の1に相当する金額を、第50条第2項の承諾の通知が到達した日の翌日から起算して1週間以内(第55条第2項に規定する場合にあっては、同項の特定の日から2週間以内。前条第3項に規定する場合にあっては、共済掛金期間の満了の日まで。次項において同じ。)及び第1回目の組合員負担共済掛金の払込期限の日の翌日から起算して当該共済掛金期間の月数を4回で除して得た月数を経過するごとの日までに、それぞれこの組合に払い込まなければならない。ただし、災害に際しこの組合の区域内の市町村に災害救助法が適用された場合であって、当該市町村の区域内に住所を有する組合員のうち組合員負担共済掛金の分割支払に係る払込期限が当該災害の発生日から延長期日までの間に到来するものについての当該払込期限をそれぞれ当該延長期日まで延長することをこの組合が理事会において決定したときは、当該延長期日を当該払込期限とする。

4 第1項第2号の規定により組合員負担共済掛金を分割して払い込むことを認められた場合には、第50条第2項の承諾の通知が到達した日の翌日から起算して1週間以内に組合員負担共済掛金の2分の1に相当する金額を、第1回目の組合員負担共済掛金の払込期限の日から起算して当該共済掛金期間の2分の1に相当する月数を経過した日までにその残額に相当する金額を、それぞれこの組合に払い込まなければならない。ただし、災害に際しこの組合の区域内の市町村に災害救助法が適用された場合であって、当該市町村の区域内に住所を有する組

且までに、それぞれこの組合に払い込まなければならない。ただし、災害に際しこの組合の区域内の市町村に災害救助法が適用された場合であって、当該市町村の区域内に住所を有する組合員のうち組合員負担共済掛金の分割支払に係る払込期限が当該災害の発生日から延長期日までの間に到来するものについての当該払込期限をそれぞれ当該延長期日まで延長することをこの組合が理事会において決定したときは、当該延長期日を当該払込期限とする。

5～6 (略)

第80条～第299条 (略)

合員のうち組合員負担共済掛金の分割支払に係る払込期限が当該災害の発生日から延長期日までの間に到来するものについての当該払込期限をそれぞれ当該延長期日まで延長することをこの組合が理事会において決定したときは、当該延長期日を当該払込期限とする。

5～6 (略)

第80条～第299条 (略)

附 則

- 1 この規程の変更は、鹿児島県知事の認可のあった日から施行する。